

展覧会情報

この冬以降開催される地図・地理・歴史に関する展覧会・展示会等についてお知らせします。

■甦る鷹見泉石の絵地図

国指定重要文化財修理の足跡

会場：古河歴史博物館

電話0280-22-5211

会期：2006年8月26日～12月24日

■鷹見泉石の交流

会場：古河歴史博物館

電話0280-22-5211

会期：2007年1月5日～3月31日

■絵地図に見る美濃・飛騨の姿

～笠松陣屋絵図と宝暦治水～

会場：岐阜県歴史資料館1階

電話058-263-6678

会期：2006年10月1日～12月28日

■絵図にみるかながわ

会場：神奈川県立公文書館

電話045-364-4454

会期：2007年1月24日～3月11日

■特集展示 古地図

会場：岐阜市歴史博物館

電話058-265-0010

会期：2007年2月8日～3月11日

■幕末の地方城下絵図

(大口・出水・加治木・伊集院・高城)

会場：鹿児島県立図書館

電話099-224-9511

会期：2007年3月1日～3月30日

平成18年度 第1回巡検

平成18年度第1回見学会(巡検)は平成18年12月9日(土)に開催予定です。旧海軍と米軍の街、横須賀を散策します。

「横須賀と自然人文博物館」

集合・出発：午前10時：京浜急行横須賀中央駅東口改札口外側(2階部分です)

予定順路：横須賀自然人文博物館(10:20～11:20)
→YYポート横須賀2階(昼食・海軍カレーを予定
11:40～12:20)→猿島渡船(13:00三笠発～14:15
猿島発・要塞遺構)→記念館三笠(14:40～15:30)
→YYポート横須賀1階(お土産等・15:45～16:15)

解散：京浜急行横須賀中央駅16:30およびJR横須賀駅(大滝町・どぶ板通り・臨海公園経由)17:00

参加費：渡船・三笠・資料代で2,000円。現地までの

交通費、昼食代は自弁。

当日の天候(荒天もしくは極端な寒冷)により猿島への渡船は中止になることがあります。

参加申し込み：12月1日まで、お電話03-3262-1486まで。参加資料と当日連絡先をお送りします。

第2回巡検は2月頃、「小田原」を予定しております。



三笠公園の船艦三笠

地図絡み

第27回 新高山の山岳図

井口悦男(帝京大学理事)

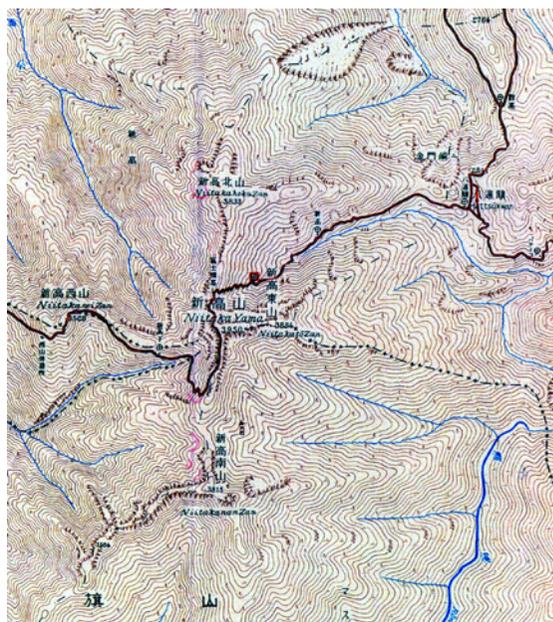
日本の基本図であった地形図は、明治初期の測量原図は別として、フランス式の色刷図で発行する予算背景をもたなかったため、ドイツ式の1色墨刷図とされた。多色刷の20万分1帝国図の存在は、一般図中唯一のもので、5万分1で代表される一般地形図はみな1色であった。例外の色刷は、特定図に見られた。ひとつは、陸軍の特別大演習用編集図が、ときに3色あるいは2色刷で発行されたほか、もうひとつは、昭和1桁代、5~7(1930~32)年に、当時登山熱の高まりに合わせ、「五万分一山岳図」が3~5色刷で編集された。富士山をはじめ、北アルプスの白馬・立山、槍・穂高・乗鞍、南アルプスの白根、赤石、その他箱根や大峯、大台ヶ原と作られ、再版も昭和9~13(1934~38)年に見られた。初版の多くは、はさみ込み形色刷表紙付折り図とされ、バス道、登山道、山小屋、水場などを赤、黒で加刷し、図周囲に青刷参考写真を入れたものも見られた。表紙デザインは、昭和初頭のアルデコ調山岳画として目立つ。

これに続けて外地版に「新高登山地図」があったことを最近気付いた。(昭和8年6月17日台湾山岳会発行、印刷者小林又七、発売所台北新高堂書店、定価50銭)4色刷の内地版と同じ図描で、西の阿里山から東の新高山と広く取り、阿里山鉄道の山上部林用線が四方に広がっている。発行年代が内地の山岳図の後ということと、民間発行のこともあってか、表紙は墨絵彩色画風、裏表紙は白地で、陸測図にある刊行の

辞は見られない。一回り小型版の折図なのも、民の軽さがただよ。

残念ながら、阿里山も新高山も、私には名前だけの存在である。しかし一方、台湾は、日本にとって、サトウキビの広大な栽培地で、現地で粗糖とされ、内地の大都市近郊工業地帯港湾部に位置する精糖工場に運ばれ精製されると聞いた。

また、「新高ドロップス」という名は、戦後名の知られた「サクマドロップス」以上に、頭にこびりついた商標である。関連して、バナナはなんといっても台湾バナナである。小さいころ、この味しか知らないで育った。アメリカ渡りバナナの草っぱい味には、いまだになじめないでいる。おかげで、戦前には考えられない安さなのはありがたい。永年の夢は産地で自然に熟したものに接してみたいことである。そう言ったら、物識りに、青バナナを人工的に黄熟させたもののほうが上と言われてしまった。(06.11.03)



新高登山地図：基本的に先に発行されていた内地版図描と同様であるが、台湾版には符号説明に英語、図内山名、河川名にローマ字入り。



内地官版山岳図表紙一例
槍ヶ嶽及乗鞍嶽近傍圖、昭和5年(定価45銭)

ICICニュース Vol.11 No.3通巻39号
発行年月日:2006年(平成18年)12月1日
編集・発行:財団法人 地図情報センター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5
神保町センタービル5階
Tel.03-3262-1486 Fax.03-3234-0872
<http://www.soc.nii.ac.jp/icic/>
E-mail icic_map@yahoo.co.jp